



秋本番

校長 海老澤 孝代

11月12日は運動会です。青空の下、スローガン『白も緑も黄色も 全力応援! にじいろ笑顔で かがやく白根っ子』を掲げ、練習や準備に一生懸命取り組んでいます。白・緑・黄色の三色対抗なので、各色で盛り上がるとう応援団を中心に張り切っています。保護者の皆様に見ていただく時間は短くはなってしまいますが、力いっぱい演技や力走に温かい励ましをお願いいたします。

さて、先日2年生と生活科の学習で、旭図書館見学に行きました。旭図書館では多くの方が利用している様子がありました。館内や書架の様子を見学するだけでなく、自分たちで利用するときには見られない所蔵庫の様子や閉館後の返却口を裏側から見ることができました。他にも自分が生まれた日の新聞があることも紹介され、本の貸し出しだけでなく図書館の役割についても学ぶことができました。また、読み聞かせもしていただきました。

私も触発され、久しぶりに自宅近くの図書館に出かけ、9冊も借りてしまいました。休日の午後本を読み、ゆったりと過ごしました。私は小学生の頃、本を読むのが大好きでした。同じ本を大切に何度も何度も読み返していました。その中で私の気に入っていたのが、神沢利子作『いたずらラッコのロッコ』という本でした。まだラッコをこの目で見たことが無かった私は、「北の冷たい海に住むふわふわした毛のラッコってどんな顔かな。ウニや貝が大好物だからすごい牙があるのかな。ケルプという海藻をくるくる巻いて寝るってどういうことなのだろう。」と想像は広がるばかり。ラッコの家族の様子を思い描いて楽しんでいました。そして大人になってラッコを初めて見たときは、「これがラッコか。小学生のときに想像していたようにおなかの上でカンカン、カンカンと器用に貝を割って食べている。」とそのかわいらしい仕草に納得したのです。

白根小学校には学校司書が配置されています。学校司書の石森明子先生は、図書室の環境整備や授業に必要な図書の整備、旭図書館との連絡調整等の他に、読み聞かせもしていただきます。子どもたちが多くの本と触れ合い、本の楽しさを感じてくれることを願っているそうです。11月16日からは『読書週間』です。この読書週間ではいろいろな本に親しみ、本を読むことで想像を広げ、いろいろと考える楽しさを味わってほしいと思っています。

これからが秋本番。スポーツの秋、読書の秋、行楽の秋、食欲の秋、芸術の秋、・・・気候が良く、秋は何をするにもいい季節です。自分の興味のあることに集中して、友だち同士や家族みんなで秋を満喫しましょう。